



南部町立南部中学校 学校だより 第3号

# 千一ム南部中

令和2年 5月29日 (金)

校長 望月和彦

## 学校再開！笑顔の中にも緊張感を持って

県教育委員会や南部町教育委員会の指示を受けながら、学校再開に向けた準備として、5月21日の午前中は1年生、22日には午前中2年生、午後3年生が久しぶりに学校に分散登校しました。4月11日から約40日ぶりです。マスクをつけて笑顔で「おはようございます」「こんにちは」とあいさつしながら登校する生徒たちを見ると、私自身も嬉しさがこみあげてきました。あたりまえの生活がどれほどありがたいことかを、生徒たちも教員もかみしていたようです。健康状態をチェックしたり、家庭訪問で届けたたくさんの課題を提出させたり、臨時休業中の様子を聞いたり、今後の生活について指導している教員の姿もなにか澁刺として見えました。分散登校は、各学年2時間でしたが、そのなかで最も大切にしていたことは、25日からスタートする全校生徒での学校生活の仕方を理解してもらうことでした。自分や友だちが可能な限り感染しないためには、また、感染させないようにするためにはどうしたらよいか。登校前に家では、スクールバスでは、学校に到着したら、学校生活全般で気をつけることは、授業中はどう学習するか、給食の時間や清掃活動では何に気をつけるのか、そして、部活動はどうするのか、などなど。国内では感染が収束した地域で再び感染者が増加したり、県内でも分散登校が一早く始まった地域で感染者が出たために学校再開が延長になったり、気を緩めると元の状態に戻ってしまうことが起きています。やっとのことで再開できた中学校生活や教育活動を今後も続けていけるように、教職員も、生徒たちも、力を合わせて乗り越えていきたいと思えます。地域で感染者が増加しても再び休校となることも考えられます。保護



者や地域の皆さんも可能な感染症対策の徹底を是非お願いいたします。

そうして迎えた5月25日。全校生徒がそろって登校し、新しい学校生活がスタートしました。体育着での登校、朝の会での検温・体調チェック、給食と運動時以外でのマスクの着用、こまめな手洗いと室内の換気、机やドアなどのアルコール消毒、こまめな室内換気と手洗い、給食は学年毎別の場所で一方を向いて、そして、今までと違った授業スタイル(机の距離

をあけて、グループ活動は必要最小限、合唱や調理実習・身体を密着させるような活動は当分しない、ものの貸し借りはしない、体育は当分の間校庭で、プールは今年度中止など）さらに細かな注意事項はたくさんあります。面倒くさかったり、手間がかかったり、中学生なら友だちと顔を寄せて自由に話をしたり、じゃれ合ったりしたいと思うのですが、生徒たちはきちんと注意事項を守り、落ち着いて生活していま



す。5月末までに様々な行事が延期になったり、中止になったりしました。学校が再開しても、教職員も生徒たちも、気を緩めることなく、危険な事はできるだけ避け、やるべき事をきちんとやって、少しでも現在の状況が改善していくことを願っています。



## 臨時休業中の学習支援「オンライン学習」



臨時休業中の生徒たちには、今までの学習内容を振り返ったり、これからの学習を予習するための課題を、プリントやワークブックなどを利用して与えてきました。家庭訪問時に回収すると同時に、新しい課題を配布し、次の訪問時にチェックした課題を返却するというサイクルで家庭学習を支援してきました。誰も教えてくれる人がいない状態で、一人で学習を進めるといのは、なかなか難しいことですが、多くの生徒たちは自分なりに工夫して課題をやり遂げようとしていた

ようです。本校の教員チームは、個人では厳しい家庭学習を何とかサポートしてやれないかという思いから、授業の動画を撮影し、インターネットを使って配信するという事にチャレンジしてみました。山之内情報主任、望月教務主任、岩崎教諭、飯島教諭で構成するオンライン学習プロジェクトチームが中心となり、様々な障壁を乗り越え各学年の5教科すべての授業を配信することができました。家庭で視聴できる環境がない生徒には授業動画をDVDに焼いて視聴してもらいました。家庭訪問を行った学級担任の話では「予想以上の多くの生徒たちが授業動画を視聴していました。家庭学習のサポートになっているようです。」とのことでした。ただワークブックやプリントに向かうよりも、先生の顔を見たり、声を聞きながら学習した方が、意欲もわいてくるのではないのでしょうか。まだ、視聴していない生徒がいましたら、本校教員が一息懸命制作した動画なので、是非視聴して、学習に役立ててほしいと思います。学校が再開しても、この方法は様々な形で今後の教育活動に活用できる生徒支援のアイテムとなると思います。

